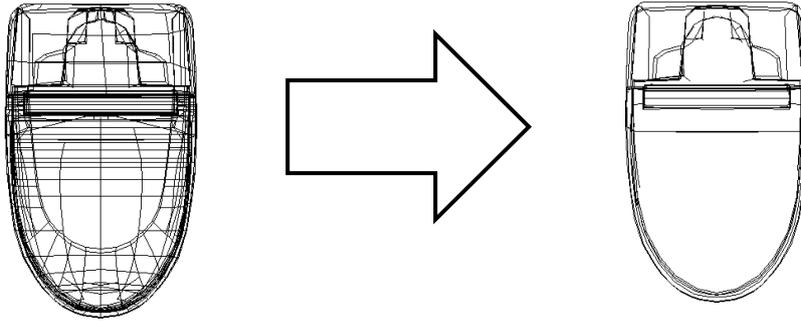


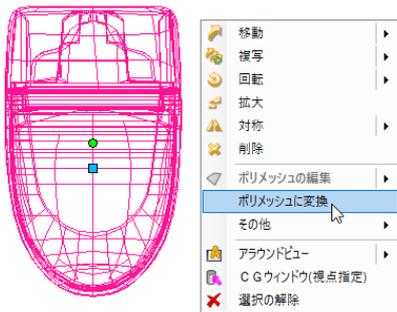
Q 読み込んだ 3D データ(DXF、DWG)の要素の線が多くて見づらい

A ポリメッシュに変換し、稜線の表示形式を設定します

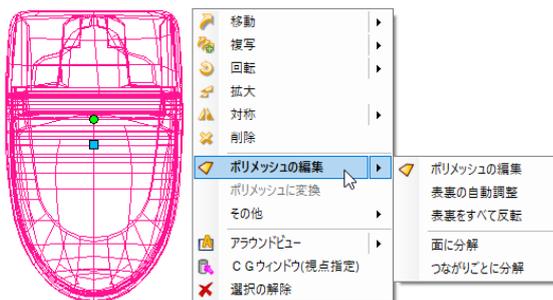
読み込んだ3D データが「複合面」または「面」で構成されていると稜線が多く見づらい場合があります。ポリメッシュに変換すると稜線の表示形式を調整できます。



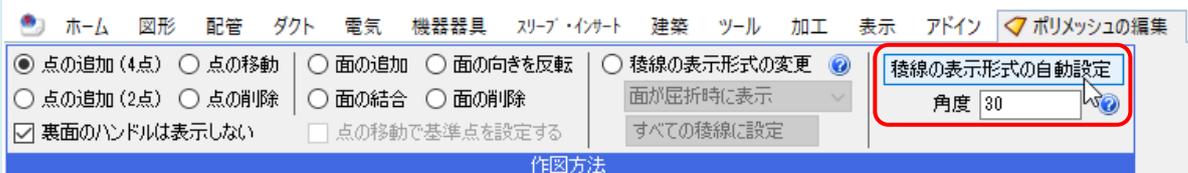
1 読み込んだ3D データを選択し、コンテキストメニューより[ポリメッシュに変換]をクリックします。



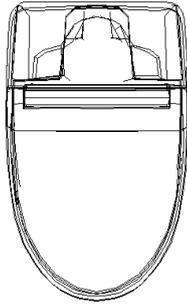
2 変換したポリメッシュを選択し、コンテキストメニューより[ポリメッシュの編集]をクリックします。



3 リボンの[角度]に指定角度を入力し、[稜線の表示形式の自動設定]をクリックします。



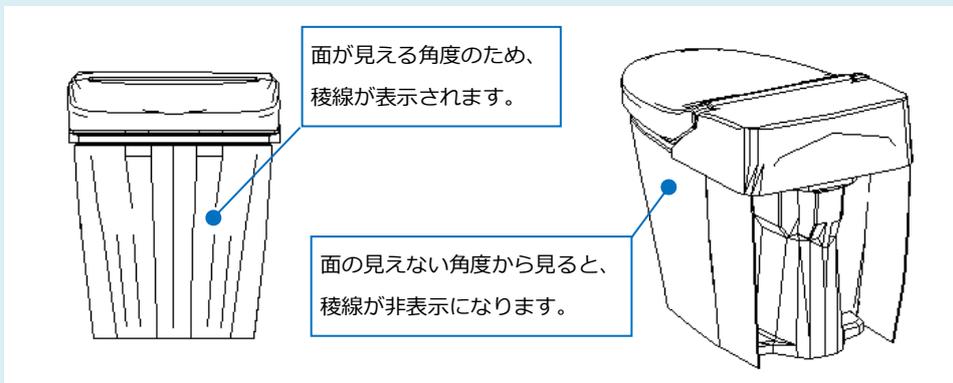
- 4 コンテキストメニューから[確定]をクリックします。
表示する稜線が調整されます。



●補足説明

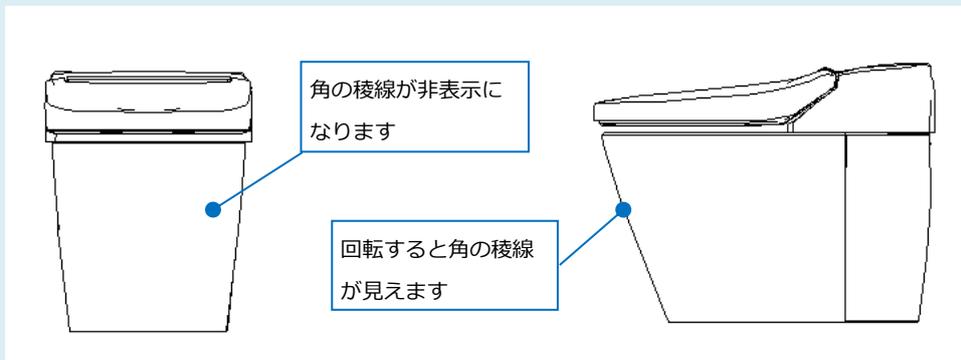
面どうしの角度が指定した角度以上の場合、面が見える角度の稜線を表示します。

例:「稜線の表示形式の自動設定」が「15°」の場合



指定した角度以下の場合、角の稜線が非表示になります。視点を回転した際に角の稜線が表示されます。

例:「稜線の表示形式の自動設定」が「30°」の場合



ポリメッシュすべての稜線に対して処理されますので、最終的に部材として仕上げる場合に使います。